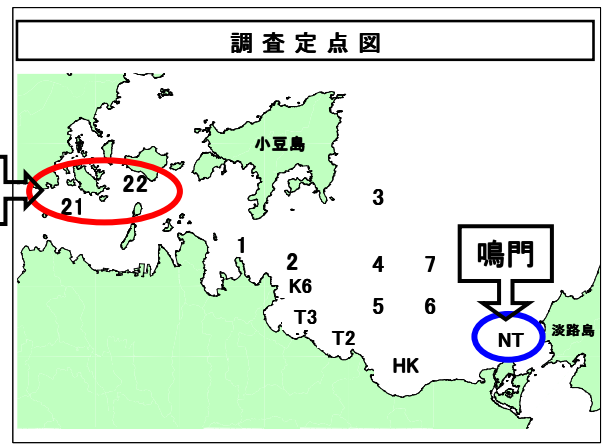


カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2009. 5- 2)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



浅海定線調査結果

調査日: 5月26日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点(中旬のみ)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.5.22	1	21	101	348	欠測	297	422	3	1	欠測	4	-	-	-	133.1	
2007.5.18	11	58	0	1	90	0	2	31	125	73	28	-	-	-	38.1	38.1
2008.5.22	0	0	0	0	0	3	5	4	137	18	0	-	-	-	15.2	15.2
2009.5.26	0	2	47	766	19	5	177	12	1	0	0	0	0	20	93.5	74.9

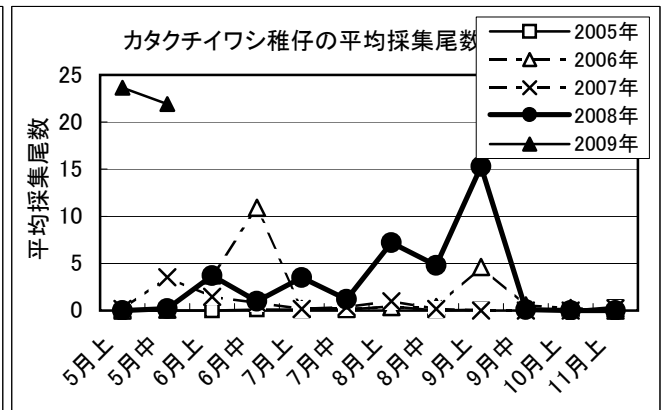
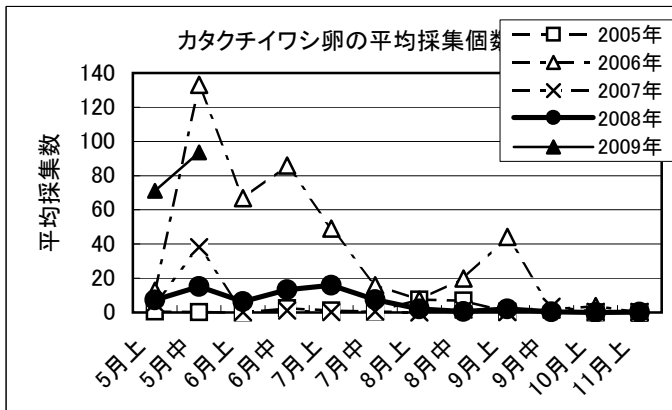
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2005.5.20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0.0	
2006.5.22	0	1	0	0	欠測	0	0	0	0	欠測	0	-	-	-	0.1	0.1
2007.5.18	11	7	0	0	6	2	2	7	0	0	4	-	-	-	3.5	3.5
2009.5.26	8	11	30	65	47	13	18	30	1	2	16	0	0	6	21.9	17.6

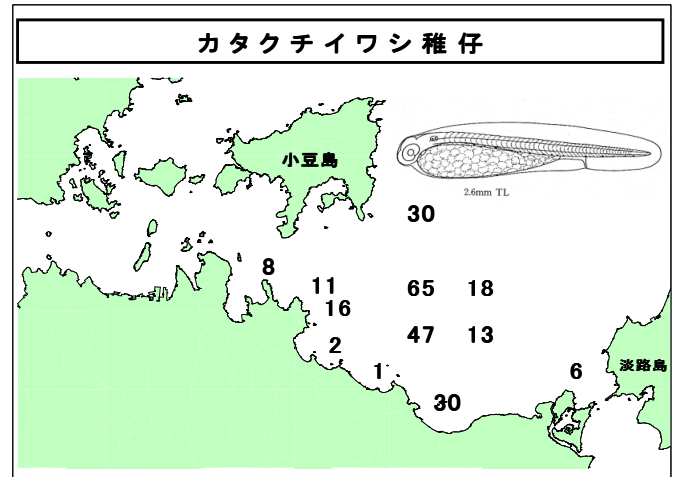
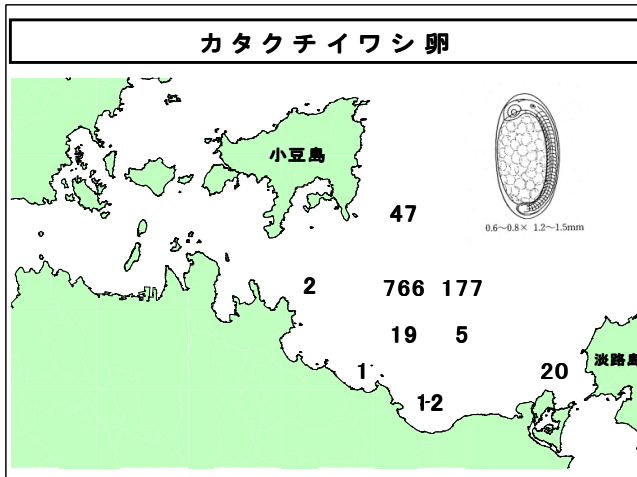
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は約94個となり、昨年同時期を上回った。卵はやや沖合いで濃密な出現が認められた。

一方、稚仔の出現は約22尾となり、昨年同時期を上回った。稚仔の出現は大半の定点で認められ、播磨灘で稚仔の出現が多い傾向を示した。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、4月中旬以降の水温は平年よりかなり高めに推移している。